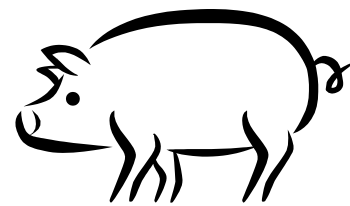




岩手県北豚疾病Alert

Vol.6



○県内における豚流行性下痢（PED）の発生について

- ・ 11月22日、PEDの発生を県央地域の養豚場で確認。岩手県では、平成27年12月以来、約3年ぶり。
- ・ 当該農場では、平成26年5月にもPEDが発生。
- ・ 本病は、約50万頭以上の子豚が死亡した平成25年シーズン（H25.9～26.8）をピークに減少傾向であるが、平成29年シーズンの発生は、8県35農場。発生歴のある農場においては、散発的な発生が認められる。

【PED侵入防止対策】

☆飼養衛生管理の徹底

消毒の徹底、長靴の交換、入場者の制限・記録など、農場へのPEDウイルスを侵入防止。



★ワクチン接種の徹底

母豚乳汁を介した子豚への免疫賦与で、万が一感染しても下痢発生とウイルス排出を軽減できます。



☆早期通報の徹底



毎日の観察と速やかな通報の徹底によりウイルスのまん延を最小限に。

★畜産関連施設における家畜の伝染性疾病の感染拡大防止対策の徹底と畜場、化製場及び共同糞尿処理場等に

立入った後の、車両、靴底、手指及び運転席の足下マット等の洗浄・消毒を確実に実施。



みんなでまもろう！養豚産地県北

岩手県県北家畜保健衛生所・県北家畜保健衛生協議会

TEL 0195-49-3006

TEL 0195-49-3040



目指します!! 家畜の健康と安定した畜産経営